



VST plug-in Arpeggiator

LINEAR-MOTION ALGORITHMIC™  
**SYNARP™**  
SNAKE LINE ARPEGGIATOR™



Manual

## • はじめに

この度は**SynArp™**のアルペジエーター・プラグインをダウンロード頂き、ありがとうございます。  
**SynArp™**は、よりインタラクティブでユニークなアルペジエーターをVSTプラグインで提案します。  
Linear Linear-motion Algorithm™(Arpliteを除く)では、入力音/入力音数の変化にシームレスに対応することにより今までにないインタラクティブな演奏表現を可能にします。  
**SynArp™**を楽しんでください。

## • **SynArp™**プラグインのインストール/セッティング

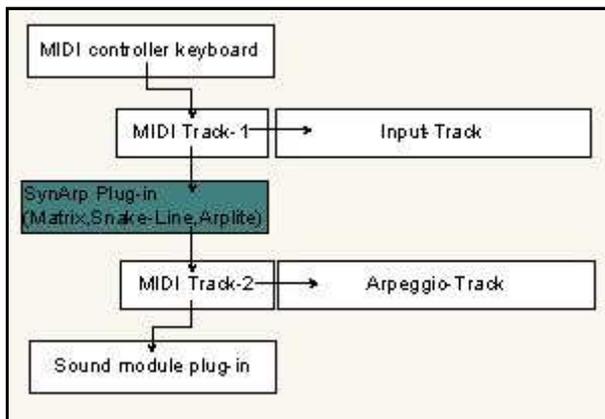
[Cycling'74のサイト](#)からPluggo Runtimeをダウンロードし、インストールしてください。

ダウンロードした**SynArp** のプラグイン(.dll)ファイルを任意のVSTフォルダーへ置いてください。

ホストアプリケーションを起動し、プラグインを「VSTインストゥルメント」として読み込んでください。  
(詳細はそれぞれのホストアプリケーションのマニュアルを参照してください。)

## • MIDIトラックのセッティング

ホストアプリケーションではトラックレーンにMIDI-Trackを2つ作ります。これらをMIDI Track-1、MIDI Track-2とします。  
MIDI Track-1,2の各入出力を以下のように選択します。



- MIDI Track-1のインプット・ソースからコントローラー(キーボード)を選択します。
- MIDI Track-1のアウトプット・ソースから**SynArp** プラグイン(Matrix™,Snake-Line™,Arplite™)を選択します。
- MIDI Track-2のインプット・ソースから**SynArp** プラグイン(Matrix™,Snake-Line™,Arplite™)を選択します。
- MIDI Track-2のアウトプット・ソースから任意のVSTインストゥルメント音源、または外部の音源等を選択します。

MIDI-Track1にはアルペジオのソース(キーボード等で弾いたもの)が、  
MIDI-Track2にはアルペジエーターで生成されたアルペジオがそれぞれ返ります。

※この例ではSteinberg社Cubase,Nuendo等の方法をモデルにしています。  
その他のホストアプリケーションではそれぞれのマニュアルを参照してください。

## Snake-line-Arpeggiator™

### 機能／特徴

---

**Snake-Line-Arpeggiator**の描く特徴的なアルペジオ・ラインのフォームは、ノート・オン、ノート・オフ、また密度を設定できるランダムなパルス情報によってアルペジオのディレクションを折り返すことで作られます。

更に、入力されるノート数によってクオンタイズを変化させるオート・クオンタイズや、ペダル・コントロールによるノート・ホールドとの組み合わせによって、よりインタラクティブに、大凡のアルペジエーターとは一線を画すユニークなアルペジオラインを生成します。

また、この音跳びの無いなめらかな曲線を描きながら疾走するアルペジオ・ラインは**Linear-Mortion-Algorithm™**とのコンビネーションで可能になりました。

### Linear-Mortion-Algorithm™

大凡のシンプルなアルゴリズムのアルペジエーターでは、和音変化(発音中の入力変化)に対し発音の際に音跳びが発生します。これはリスト化された入力ノートを単純にある特定の順序で発音させているためです。

またこの対策としてリトリガーをつかうものがあります。このアルゴリズムでは、ノート・オン情報毎にリトリガー(リセット)を施すことによって、和音変化に対応させています。

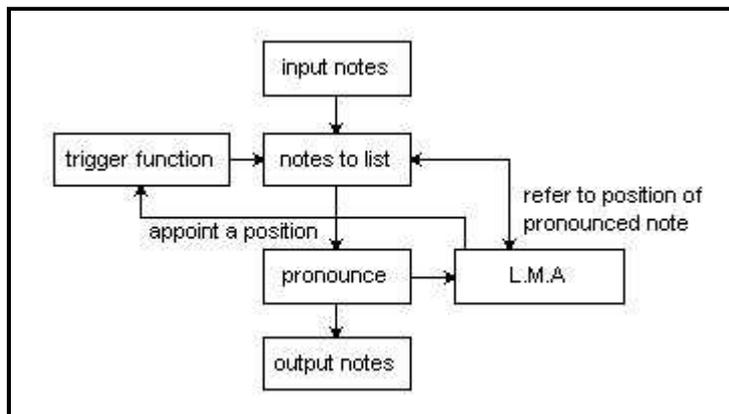
しかしこの場合でも、リトリガー(和音変化)毎にアルペジオラインはリセットされ、流れるような自然なラインフォームは途切れてしまいます。

“**Linear-Mortion-Algorithm (L.M.A)**”は、これらの問題を解決します。

L.M.Aでは、リスト化された入力ノートを、発音(トリガー)毎に参照することによって音の位置情報を返します。

その位置情報を基準に次の発音(トリガー)ノートを計算し指定することによって、入力と和音の変化に影響を受けないスムーズなアルペジオ・ラインが可能になります。

### Linear-Mortion-Algorithm™



## 各部位の説明



### [ DIRECTION ]

アルペジオのフォームを設定します。

### [MIN-ACT-HLD]

キーオンに関する設定です。

**MIN** : 入力音数がこの設定値に達したときに、和音を確定し発音を開始します。  
(ノート数によるフィルタリングを設定します。)  
的確に設定することで和音入力のタイミングのばらつきをなくします。  
例: 3~4ノートの和音を演奏する場合、3に設定します。

**ACT** : キーアクティビティを点灯で表示。

**HLD(HOLD)** : **on**の間は入力されたノートをホールドします。またさらにノートを追加していくことができます。  
**off**でホールド音は開放されます。  
**hold**はコントローラー#69でオン/オフをコントロールすることができます。

### [Peda]

コントロール・チェンジ#64で受けるサステイン効果のペダル・モードを指定します。

**Sustine.** : サステインの効果。これは音源への送信でなく、SynArpで直接ノート・デュレーションへ効果を加えます。  
トラックではMIDIデータのノート・デュレーションに直接反映されます。

**Sus-hold 1.** : ペダルオンでその時点の発音ノートをホールドします。

**Sus-hold 2.** : **Sus-hold 1**のオンオフを反転したモードです。

**Arp-on.** : ペダルオンでアルペジオが開始、ペダルオフでアルペジオが停止します。

**Arp-off.** : **Arp-on**の反転モードです。

※その他(#64,#69以外の)コントローラーから入力された信号はスルーされ、そのままアルペジオトラックへ音源へ渡されます。



### [TURN]

アルペジオのターン・トリガーを選択します。

**Non** : アルペジオはRengeで設定された範囲を、Directionで設定されたフォームでランニングします。  
アルペジオのランニング中(キーアクティビティが継続してる間)はコードの構成音に変化しても、ラインが崩れずスムーズなラインフォームである所に注目してください。

**Note-on** : Note-onトリガーでアルペジオをターンさせます。

**Note-off** : Note-offトリガーでアルペジオをターンさせます。

**Note-on/off** : Note-onとNote-offのトリガーでそれぞれアルペジオをターンさせます。

**Random** : rand.number boxで設定した密度に従ってランダムにアルペジオをターンさせます。

**LED** : それぞれ、Note-on、Note-off、ランダムが選択されてる場合のランダム・ターンのトリガーを点灯で表示します。  
またup/downそれぞれのモーションステータスを点灯で表示します。



### [ RANGE ]

アルペジオのレンジを設定します。レンジバーはドラッグの他、Shift+clickで個別に上下値を設定できます。

**RangeBar** : レンジバーで範囲を設定します。

**Playd** : キーボードなどで入力された最低音-最高音の間の範囲をレンジとして指定します。  
この設定では押鍵位置によってリアルタイムにアルペジオレンジをコントロールすることが出来ます。

**Ctrl-16** : レンジバーで指定した範囲をコントローラー#16でスイープ・コントロールします。



### [ Quantize ]

音価を指定します。

**TRIG / BEAT (trigger per beat)** : 音価を指定します。拍ごとのトリガー回数を指定します。

[ 3 / 2 ] では二拍三連、[ 5 / 4 ] では四拍五連などの変拍子を指定する事が出来ます。

**BPM** : テンポBPMを指定します。

**SYNC** : ホストに同期します。

### [Auto-Quantize]

キーオンされるノート数に応じてクオンタイズを変化させます。

**A - B** : Aの設定値(ノート数)でレギュラー(TRIG/BEATで設定した音価)となり、  
Bの設定値(ノート数)でRATIOの値までTRIG数が変化します。

**RATIO** : レギュラーのTRIG数の倍数で設定します。(x0.25 ~ x4.0)

**SLOPE** : 値1.0以上で、また、高い値(~8.0)ほど入力ノート数に応じてRATIOが緩やかに変化するようになります。  
値0.0ではスロープのないTRIG数変化になります。

**ON** : [Auto-Quantize] をONにします。



**DUR%** : ノートデュレーションを音価(クオンタイズ)のパーセンテージで指定します。

~50%でスタッカート、100%でレガート、それ以上でペダル効果になります。

### [MODE]

発音モードを選択。

**poly** - ポリモード発音。

**mono** - モノモード発音。

**VELO.** : ベロシティを指定します。



### [ Recorder ]

Snake-Line-Arpeggiatorでの演奏はここでレコードすることが出来ます。

レコードされた演奏はmidiファイルとして読み込み/保存することができます。

レコードするには[Rec]→[play]の順にクリックします。(テープレコーダーの要領)

また、[Rec] ボタンはオート・レコードスタートの機能を兼ねています。

[Rec] ボタンをクリックすると、赤いLEDが点灯します。

この状態で演奏を始めると、自動的(オンタイム)にレコードを開始します。

[play] レコードされた演奏をプレイバックします。

[stop] レコード、およびプレイバックを停止します。

[load] midi-fileを読み込みます。

[save] レコードされたものをmidi-fileとして保存します。